

# 2019年10月27日 主日礼拝

司 会 ①浅井兄 ②森山兄 ③岸兄  
奏 楽  
祈 禱 ①梅津兄 ②片岡兄 ③新田兄

賛 美 聖歌483番「われは主にありて樂し」  
(主を喜ぶことは力)(御手の中で)

## 3つの愛

聖 書 ① マルコによる福音書5章25～34節 (P58)  
②③ ルカによる福音書15章21～32節 (P116)

音 楽 ① 北島美佐子姉 (伴奏:白鳥直美姉)  
②③ サインダンス

証 詞 ①② 宇佐美より子姉 (ハンナ会)  
③ 宮田麻姫子姉 (ルツ会)

メッセージ ① 「イエス様こふれて、ふれられて」 丸藤剛介伝道師  
②③ 「神様の心配とは？」 坪井永城副牧師

賛 美 「イエスはなれを呼びたもう」(聖歌404番・献金)  
頌 栄 「主の祈り」 アーメン  
祝 禱

「あなたがたの思い煩いを、いっさい神にゆだねなさい。  
神があなたがたのことを心配してくださるからです。」

(1ペテロ5の7・新改訳)

## 【大和ニュース】

☆「フリーマーケット」へのご協力を感謝します。売り上げは、358,904円でした。

売り上げの一部を「モンゴルキッズの家」へ寄付します。委員会の皆様に感謝します。

- ・ 本日の「石の枕」は武井先生がお書き下さいました。感謝。奥様は津田塾卒です。
- ・ 「洗礼準備会」、アブラハム会、モーセ・ヨシヤ合同賛美集会、J.Plus、ICA禱援会、SS教師会等あり。
- ・ 東京カルバリーの礼拝は5時。説教は坪井師。音楽は衛藤姉。(中野区弥生町5-5-1)
- ・ 大川牧師夫妻は本日オーストラリアのヒルソング教会にて礼拝を捧げておられます。

- ・ 今週の祈禱会はSPです!①と②水曜夜と木曜朝、38才の大川師「霊性を整えよ」(V)  
③金曜夜は小林詩音副牧師 (31日は宗教改革記念日)

## 石の枕

この度、新5000円札にその肖像が用いられる津田梅子という人は、1871年(明治4年)に、明治政府がアメリカに派遣した女子留学生5名の中の一人でした。



何と、年齢は最年少の7歳でした。でも、しっかりしていて、頭脳極めて明晰なお嬢さんだったようです。梅子さんを受け入れてくれたランマン夫妻はクリスチャンで、毎週日曜日、梅子さんを伴って、教会に通っていました。そして、8歳の時、梅子さんは洗礼を受ける決心をしました。牧師は、当然、8歳の子ですから、小児洗礼を授ける予定でした。ところが、念のため、牧師は梅子さんにキリスト教のことについて、いくつか、質問を試みたそうです。すると、梅子さんの答えは、8歳とは思えない立派なものでした。そこで、牧師は、小児洗礼ではなくて、梅子さんに、大人の洗礼を授けることにした、というエピソードがあります。

18歳で留学を終えて日本に帰国した梅子さんは、キリスト教国で見た女性の地位の高さに比べて、日本の女性の地位があまりにも低いことに改めて驚きました。そして、自分は、日本の女性の地位向上のために、尽くそうと決意を新たに、更に、学問を身につけるべく、アメリカのプリンマー大学に留学したのでした。大学を終えて帰国した梅子さんは、女性の教育を通して、男女の差別をなくそうとの大志を抱いて、1900年(明治33年)、麴町の自宅を校舎にして、「女子英学塾」を開設しました。それが、今の津田塾大学の前身です。

その卒業生たちは、創立者の精神に立って、日本の女性の地位の向上のために尽くしました。例えば、先頭に立って赤線廃止を成し遂げた衆議院議員の神近市子、男女機会均等法の成立に尽くした労働省の婦人少年局長赤松良子などは良く知られています。

今度の新札に使われる津田梅子さんは、クリスチャンとしては、新渡戸稲造博士に次いで2人目です。そう言えば、新渡戸博士も、5000円札でした。梅子さんのお父さん、津田仙さんは、勿論クリスチャンで、大川先生の母校、青山学院の創立者の一人です。

**宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう!**

Aコース:II テモテ1章~テトス3章 Bコース:エレミヤ20章~35章